
ハートメモリーズ - heart memories -

五百川 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハートメモリーズ・heart memories

【Nコード】

N1477Z

【作者名】

五百川 光

【あらすじ】

物語の主人公である日立^{ひたち} 勇氣^{ゆうき}。彼の日常はいつになっても変わらない。次々と巻き起こるトラブルや彼を取り巻く人たちの人間模様など、とにかくドタバタな毎日である。だけどそんな騒がしくも暖かい、そんな楽しい日々を描いた物語―。始まります―

0・1

「うおおおおおおおー！ー！ー！ー！」

俺の名前は日立 勇気（ひだち ゆうき）――。

今日から神月学園の2年生になる。いつもなら優雅にコーヒーでも飲みながら、鼻歌交じりで朝食をとっているのだが、今日はちよいと油断したというか何というか…。

「くそ！始業式の日に遅刻するかもしれないとか最悪じゃねえか！さすがに初日からはまずい！頼むからもってくれよ！？俺の脚！！！」

と、まあ訳の分からないことを言いながら学園へと全力疾走している。

なぜこんなふうに新学期初日から遅刻しそうになっているかという
と、こんな時に限って目覚ましの時間設定をミスしてしまったのである。

いつもならそんなミスをすることは無いのだが、昨日の俺はどうか
していた…。

自分の周りの環境が変わるのが嬉しかったということもあり、なん
だか妙に浮かれていたのを覚えている。いま思い返すとなんか気恥
ずかしい…。

確かにクラスが変わったり、後輩が出来たりといろいろあるとは思
うが、これからのことなど分かるはずもない。

今まで通りの変わらない生活のままというのも十分ありえることだ。
しかしどんな学園生活になるかは自分の行動次第でもある。

と、こんな風にいろいろな事を考えていたから簡単なミスをしてしまったのだが…。

とにかく今は早いところ学園に向かわなければならぬ。俺は速度を上げて、通学路を走り抜けるのだったー。

#0・1（後書き）

この小説の登場人物と建物の名称の一部は私の書いている、もう一つの小説と一緒にです。ですが話の内容は別物ですのでご安心ください。

小説は夜に書いていますので亀更新になると思います…。

誤字や脱字などは見つけ次第、修正していききたいと思います。

あと夜に書いているということもあり、小説のほうは一つの章に少しずつ文章を付け足していく形で書いています。なので続きを読むと話が飛んでたりするかもしれませんが…。なのでただけ注意していただければと思います。

それでは自分なりに頑張って書いていこうと思いますのでどうかこれからよろしくお願いいたします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1477z/>

ハートメモリーズ - heart memories -

2011年12月5日06時51分発行